

外観



オフィスタワー、商業施設、文化施設の3棟からなる大規模複合開発。地上48階建てのオフィスタワーは、主に外資系金融業や商社などが入居するアジアのハイグレードオフィス。

基準階 男性トイレ 大便器ブース



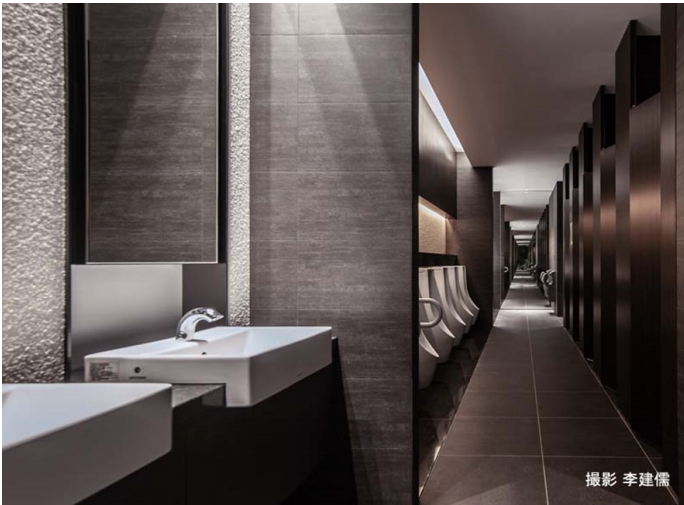
床まわりの清掃性にすぐれた壁掛式大便器を採用し、すべての大便器にウォシュレットを完備。台湾のオフィスビルでは初の試みとなる。

基準階 多機能トイレ



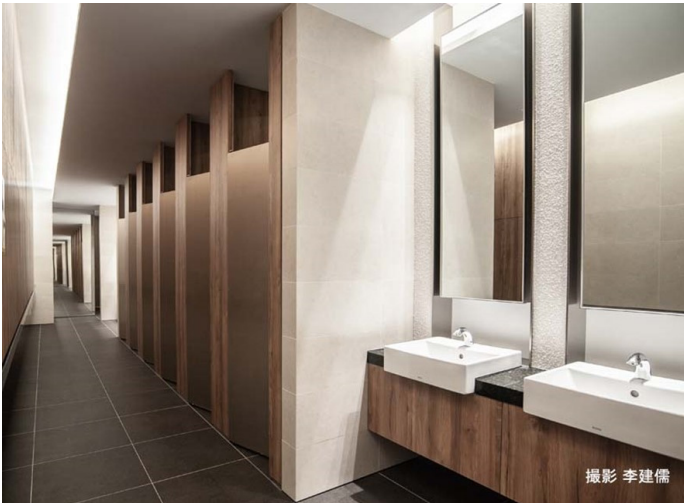
さまざまな身体状況への方々に配慮し、すべてのフロアに多機能トイレを配置している。

基準階 男性トイレ 全体



黒を基調としたシックな印象の空間。床の清掃性に優れた壁掛小便器や、においや汚れを軽減するハイドロセラ・フロアを採用。さらに、清掃方法を乾式清掃に変更するなど、日本のノウハウを取り入れている。

基準階 女性トイレ 全体



木目調を活かした上質で温かみのある空間。男性トイレと内装を変えることで、トイレサインが控えめでも、誤入室を防ぐ配慮となっている。

基準階 茶水間（給湯室）



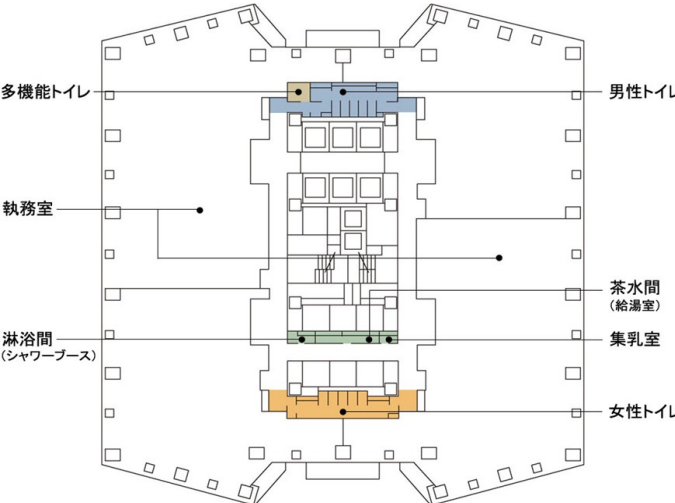
安全面に配慮したガラス張りの給湯室は、人の気配がわかりやすく、開放感のある明るい空間。

基準階 集乳室



早期復職が多いという台湾での働き方に配慮し、搾乳を行う専用のスペースを基準階すべてのフロアに配置している。

基準階 フloor平面図



基準階には、男女別トイレや多機能トイレのほか、淋浴間（シャワーブース）、搾乳のための集乳室、茶水間（給湯室）を完備している。

建築概要

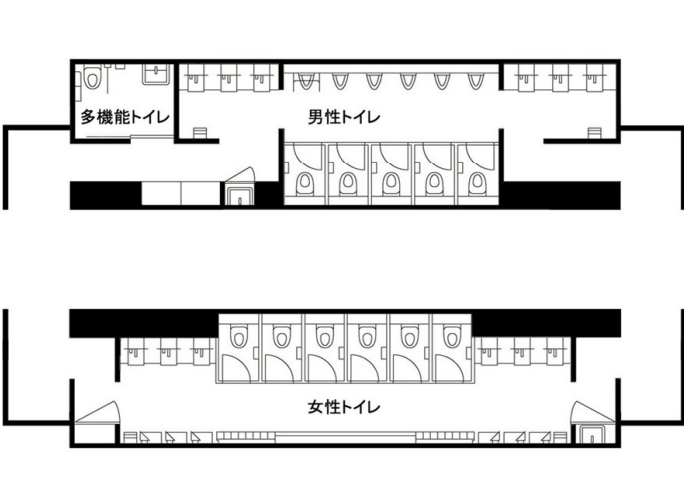
名 称	臺北南山廣場(たいぺいなんざんひろば)
所 在 地	台北市信義区松仁路100号
施 主	南山人壽保險股份有限公司
設 計	三菱地所設計、瀚亞國際設計(台湾)
施 工	互助營造
竣 工 年 月	2018年1月

基準階 淋浴間（シャワーブース）



自転車通勤者や就業前後にランニングするワーカーに配慮し、シャワーブースを基準階すべてのフロアに設置。トイレが隣接されたゆとりのある空間となっている。

基準階 トイレ平面図



台湾ではめずらしい、トイレ入口にドアがないプラン。レイアウトの工夫により、ドアがなくても内部が丸見えにならない。また、女性の働きやすさに配慮し、スタイリングコーナーと小物入れを設置している。

水まわりの特長

＜建物の特徴＞
地域活性化を目的とした政治、経済、商業の中枢にある台北市信義区の再開発コンペにおいて、南山人壽保險股份有限公司が日本のオフィスビルのノウハウを取り入れるため、三菱地所設計をパートナーに選び参加。1等を獲得し実現した臺北南山廣場は、アジアのハイグレードオフィスを持つ大規模複合開発。働く人がステータスを感じられる空間の実現に向けて、施主自ら日本へ視察に訪れ、ビル単体から街づくり、さらにメンテナンスまで日本のノウハウを取り入れている。

＜水まわりの特長＞
日本のオフィスビルでは一般的だが台湾では珍しい要素として、トイレ入口にドアがないプランを採用し、全ブースにウォシュレットを設置。メンテナンスは乾式清掃を採用することにより、日本と同様の清潔で快適な水まわり空間となっている。また、女性の働きやすさに力を入れ、スタイリングコーナーや小物入れを設置。さらに、台湾のお国事情により、早期復職が多い女性ワーカーへの配慮として、基準階すべてに搾乳する専用のスペースを完備。そのほか、自転車通勤や就業前後のランニングへの配慮として、シャワー室を基準階すべてに設け、充実した水まわり空間を実現している。